信州自然留学ガイドライン【特色編】

団体名：暮らしの学校だいだらぼっち

■：該当する　□：該当しない　（ー）：対象外

分類		確認リスト	センター型	補足事項
受入団体	1	保護者会は組織されている	■	
	2	留学を終えた後の同窓会組織がある	□	同窓会組織はないですが、OBOGの来訪は常にあり、年代は違っても卒業生同士のつながりは深いです
運営状況	1	施設や受入家庭、住まいの周辺は、自然遊びができる環境である	■	
	2	毎年、山村留学生は概ね５人以上いる	■	
	3	２年目以降に継続して受入をすることができる	■	
	4	多様な活動を実施するための設備や備品が整っている	■	
	5	山村留学の活動の様子を定期的に情報発信している	■	
	6	途中入退ではなく、年度単位での留学が推奨されている	■	
指導員	1	食事の提供をする専従スタッフがいる	□	食事はこどもたちがつくるので、スタッフはそのサポートに入ります。
	2	指導員は地域住民と連携して地域活動を行っている	■	
受入家庭・地域	1	地域の人が活動指導を行う場面がある	（ー）	
	2	複数の受入家庭で情報を共有する連絡会がある	（ー）	
	3	地元児童生徒が山村留学の体験活動に参加する機会がある	■	
暮らし	1	住居の準備がある	（ー）	
	2	家財道具の貸出ができる	（ー）	
	3	働き口についての相談ができる	（ー）	
	4	近隣（車で30分以内）に買い物ができる施設がある	（ー）	
学校	1	通学中に様々な自然と触れ合うことができる環境である	■	
	2	ホームページ等で学校の運営状況が公開されている	■	
	2	教職員が山村留学の体験活動の場に参加する機会がある	■	
	4	学校の運営や授業に地域の人がかかわっている	■	
体験活動	1	教育理念や運営方針に基づいた体験活動に参加できる機会がある	■	
	2	伝統文化に触れる体験活動に参加できる機会がある	■	
	3	食を題材にした体験活動に参加できる機会がある	■	
	4	農作業などの生産活動に携わる体験活動に参加できる機会がある	■	
	5	地域の特色を活かした体験活動に参加できる機会がある	■	
	6	十分な指導技術のある指導者の元で活動が行われている	■	
	7	地域外で実施する広域的な活動に参加できる機会がある	■	
	8	以下の体験例を２０個以上体験できる	■	
体験活動		■自然体験活動 〇テント泊　〇集団キャンプ　一人キャンプ　雪中キャンプ　〇野外炊飯　〇登山　〇距離歩き 〇ドラム缶風呂　〇野鳥観察　〇植物観察　〇星空観察　〇蛍狩り　暗闇体験　乗馬　〇陶芸 昆虫採集　〇クラフト体験　洞窟探検　クライミング　〇陶芸　〇草木染　〇ナイトハイク 〇カヌー　シーカヤック　ヨット　〇ラフティング　いかだ下り　湖水浴　〇川遊び　〇釣り 〇アルペンスキー　ノルディックスキー　〇雪遊び　海水浴　素潜り ■食に関する活動 〇キノコ狩り　〇果樹酒作り　〇木の実採り　〇山菜採り　りんご狩り　〇味噌作り　〇郷土料理作り 魚の干物作り　〇豆腐作り　〇漬物作り　〇納豆作り　〇餅つき　野菜の冬囲い　〇干し柿作り 〇動物の解体　潮干狩り ■伝統文化活動 和太鼓　民舞　どんど焼き　〇わら細工　座禅　写経　地蜂とり　〇囲炉裏体験　民話を聞く 昔の遊び体験　秋（春）祭り　〇しめ縄作り　〇野焼き　箱膳体験　遺跡めぐり　カルタとり ■農林漁業の体験 〇稲作　〇畑作　〇草刈り　〇木の枝打ち　投網　キノコの植菌　〇炭焼き　地引網　魚を捌く ■生活体験 〇集団生活　ホームステイ　〇食事の配膳　〇食器洗い　〇洗濯　〇集団入浴　〇食事の調理 〇布団敷き　〇掃除　〇雑魚寝 ■その他 ※上記以外の活動は下記に記入してカウントしてください。 登り窯焚き、毎日の風呂焚き（薪）の実施と、その燃料となる薪作業 その他、こどもたちが1年間何をするか全て決めるので、こどもたちの意見によって上記以外の活動も行う		